

11. 岡山大学農学部学生交流取扱細則

(目的)

第1条 この細則は、本学部規程第19条第2項及び第21条第2項の規程に基づき学生交流の取扱いに関して、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この細則における「学生交流」、「他の大学」及び「大学間協議」とは、次の定義による。

2 「学生交流」とは、本学部が教育上有益と認め、他の大学との協議に基づき、当該大学又は当該短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下当該大学という。）の授業科目を履修させる学生（以下「派遣学生」という。）の派遣及び他の大学の学生で本学部との協議に基づき本学部の授業科目を履修する学生（以下「特別聴講生」という。）の受け入れをいう。

3 「他の大学」とは、本学部が学生交換を行う国・公・私立大学（短期大学を含む。）又は外国の大学（短期大学を含む。）をいう。

4 「大学間協議」とは、学生交流について、本学部と他の大学又は、他の大学の学部の間で、授業科目、単位数、学生数、期間、単位認定方法、授業料等の費用、その他実施上必要とされる具体的な措置について行う協議をいう。

(審議)

第3条 学生交流について、大学間協議を行うときには、教授会の議を経なければならない。

(派遣学生)

第4条 派遣学生を志願する学生は、指導教員の承認を得て、学部長に願い出、許可を得なければならない。

2 指導教員の承認を得た学生は、次の書類を提出しなければならない。

- 一 聴講許可願
- 二 指導教員の推薦書
- 三 他の大学が必要とする書類

3 学部長は他の大学との協議が成立した後、学生に許可を与えるものとする。

4 出願の時期は、大学間協議の定めるところによる。

第5条 派遣学生が他の大学で履修した単位は、30単位を限度として、卒業の要件単位として取り扱うことができる。ただし、原則として本学部必修科目の単位としては認めない。

2 前項の単位認定は、教授会で行う。

第6条 派遣学生は、履修期間が終了したときすみやかに修了報告書を学部長に提出しなければならない。

(特別聴講学生)

第7条 他の大学の学生で、本学部の授業科目の履修を志願する者があるときは、当該大学との協議に基づき特別聴講学生として履修を認めるものとする。

第8条 特別聴講学生を志願する学生は、次の書類を履修する授業科目が開講される日の2か月前までに（外国の大学の場合は4か月前までに）当該大学の長から学部長に提出しなければならない。

- 一 特別聴講学生願
- 二 成績証明書
- 三 指導教員の推薦書

四 健康診断書

五 その他本学部が必要と認める書類

第9条 特別聴講学生が、本学の秩序をみだし、学生の本分にもとる行為があったとき、あるいは学生交流の主旨に反したときは、当該大学と協議の上、特別聴講学生としての身分を取り消すことがある。

第10条 特別聴講学生の履修方法・単位修得等については、本学学生と同等に取り扱い、修得した単位については、単位修得証明書を交付する。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

12. 教 員 名 簿

農 学 部 代表電話 086-252-1111 ダイヤルイン 086-251-内線電話

総合農業科学科

コース	研究ユニット	職 名	氏 名	内線
農 芸 化 学 コ ー ス	天然物有機化学	教 授	清田 洋正	8348
		准教授	泉 実	8294
	生理活性化学	教 授	神崎 浩	8297
		准教授	仁戸田 照彦	8291
	糖鎖機能化学	教 授	木村 吉伸	8296
		准教授	前田 恵	8292
	微生物遺伝子化学	教 授	稲垣 賢二※	8299
		教 授	田村 隆	8293
		准教授	守屋 央朗	8712
	食品生物化学	教 授	中村 宜督	8300
助 教		中村 俊之	8310	
生物情報化学	教 授	村田 芳行	8310	
	助 教	宗正 晋太郎	8310	
微生物機能学	教 授	上村 一雄	8305	
	准教授	金尾 忠芳	8398	
応 用 植 物 科 学 コ ー ス	遺伝子細胞工学	教 授	一瀬 勇規	8308
		准教授	山本 幹博	8301
		助 教	松井 英讓	8307
	ゲノム遺伝解析学	准教授	門田 有希	8354
	植物病理学	教 授	豊田 和弘	8357
		准教授	能年 義輝	8311
	植物遺伝育種学	教 授	加藤 鎌司	8323
		准教授	西田 英隆	8341
	農産物利用学			
	農産物生理学	教 授	久保 康隆	8338
准教授		牛島 幸一郎	8355	
作物生産技術学	教 授	齊藤 邦行(併)	8346	
	准教授	平野 健	8320	
果樹園芸学	准教授	福田 文夫(併)	8322	
	准教授	河井 崇	8344	
	助 教			
野菜園芸学	准教授	安場 健一郎	8304	
作物開花制御学	教 授	吉田 裕一(併)	8317	
	教 授	後藤 丹十郎	8318	
作物学	准教授	平井 儀彦	8316	

コース	研究ユニット	職 名	氏 名	内線
応 用 動 物 科 学 コ ー ス	動物生殖生理学	教 授	木村 康二(併)	8349
		助 教	山本 ゆき	8385
	動物生殖細胞工学	教 授	舟橋 弘晃	8329
		准教授	若井 拓哉	8302
	動物生理学	教 授	齋藤 昇	8335
		准教授	畑生 俊光	8306
	動物遺伝育種学	准教授	掛斐 隆之	8332
	動物遺伝学	教 授	国枝 哲夫	8314
		准教授	辻 岳人	8325
	動物栄養学	教 授	西野 直樹	8331
准教授		鶴田 剛司	8336	
動物応用微生物学	教 授	森田 英利	8343	
	准教授	荒川 健佑	8353	
生殖補助医療学	准教授	大月 純子◇	8327	
環 境 生 態 学 コ ー ス	緑地生態学	教 授	坂本 圭児※	8375
		准教授	三木 直子	8377
	森林生態学	教 授	廣部 宗	8373
		准教授	兵藤 不二夫	8422
	助 教	宮崎 祐子	8342	
	土壌環境管理学	教 授	嶋 一徹	8347
	水系保全学	准教授	福田 宏	8370
	昆虫生態学	准教授	高橋 一男	8313
	進化生態学	教 授	宮竹 貴久	8339
		助 教	岡田 賢祐	8324
生物生産システム工学	教 授	門田 充司	8352	
	准教授	難波 和彦	8364	
食料生産システム管理学	准教授	大仲 克俊	8371	
	教 授	横溝 功	8368	
資源管理学	准教授	駄田井 久	8372	
	WTT教員(助教)	東口 阿希子	8333	

(注) ※は、グローバル人材育成院の専任教員を示す。
◇は、農学部の教員を兼担していることを示す。
WTT 教員はウーマンテニュアトラック教員の略。

附属山陽圏フィールド科学センター

	職 名	氏 名	内線
F S C	教 授	吉田 裕一	8317
	教 授	齊藤 邦行	8346
	教 授	木村 康二	8349
	准教授	福田 文夫	8322

農学部事務室

	内線	住 所
教 務 学 生 担 当	8286・8287	〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
総 務 担 当	8273・8275	
セ ン タ ー 担 当	8392・8393	〒700-0084 岡山市北区津島桑の木町1番62号

13. 農学部建物配置図

